オイルクーラーブラケット　取扱説明書

製品番号	07-07-0206

対象車両／対象エンジン仕様	モンキー・ゴリラ／弊社旧スーパーヘッド装着車
	GROM・MSX125/ノーマルシリンダーヘッド装着車

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

特徴
このキットはシリンダーヘッドのタペットアジャスティングホールカバー部にオイルクーラー本体を固定するブラケットキットです。オイルクーラーステーにはラバーマウントを採用。

取り付けに関して
このキットは弊社製オイルクーラー本体（コンパクトクール）専用になります。他社製品には取り付け出来ません。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆
◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎アルマイト製品は経年変化等により、色褪せる事があります。予めご了承下さい。
◎マフラーのエキゾーストパイプにオイルが付着した場合は、油分を拭き取って下さい。

■モンキー・ゴリラに使用する場合

弊社製旧スーパーヘッド装着車が対象です。オイルクーラーへのオイル取り出しを行うには、3種類の方法があります。
1：弊社製旧スーパーヘッド用オイル取り出し口の装着　2：弊社製オイル取り出し口付きクラッチカバーの装着
3：弊社製クラッチカバー用オイル取り出し口の装着　このいずれかを行う必要があります。
※ノーマルフォーク、ノーマルスイングアームには取り付け出来ません。

■ GROM/MSX125 に使用する場合

ノーマルシリンダーヘッドが対象です。オイルクーラーへのオイル取り出しを行うには、弊社製ボアアップキットを装着し、シリンダーに装備されているオイル取り出し口を使用する必要があります。
※弊社製ｅステージボアアップキット 143cc に付属のシリンダーにはオイル取り出し口が無いタイプがあります。

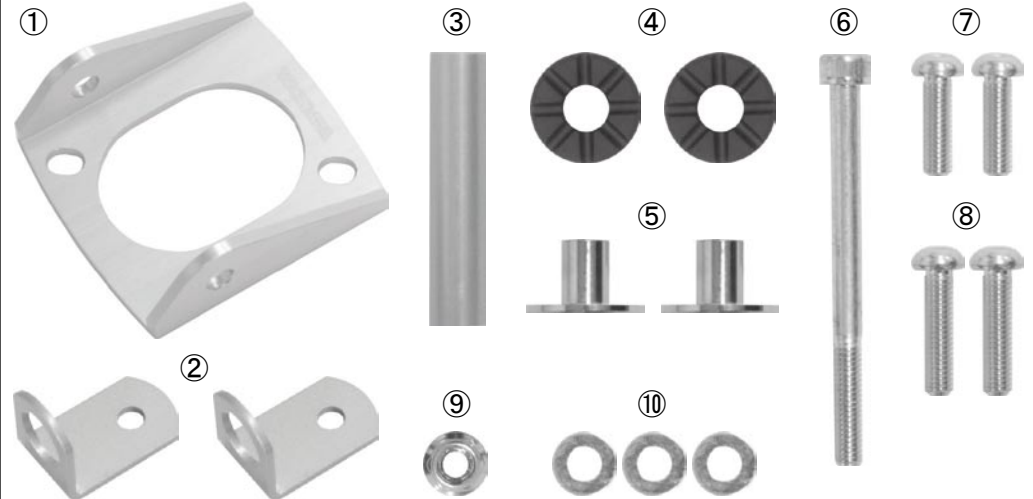
⚠ 注意　この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は､必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。
（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
■製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。
（ケガの原因となります。）
■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。（部品の脱落の原因となります。）
■ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。又、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず　新品部品と交換して下さい。
■走行前には必ずエンジンオイルが循環している事を確認してから走行して下さい。（エンジン損傷の原因となります。）

⚠ 警告　この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。
密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
（事故につながる恐れがあります。）
■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。
（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

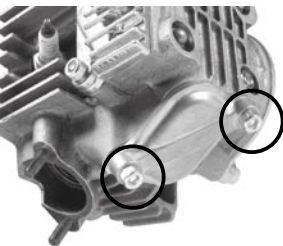
製品内容

番号	製品名	個数	リペア品番	入数
1	オイルクーラーブラケット	1	55301-K26-T00	1
2	オイルクーラーステー	2	55302-165-T00	1
3	オイルクーラーブラケットカラー	1	55303-165-T00	1
4	クッションラバー	2	00-00-0099	4
5	カラー（クッションラバー用）	2	00-00-0476	1
6	ソケットキャップスクリュー 6 × 75	1	00-00-0082	2
7	ボタンヘッドスクリュー 6 × 20	2	00-00-0084	5
8	ボタンヘッドスクリュー 6 × 25	2	00-00-0126	5
9	フランジＵナット 6MM	1	00-00-0091	6
10	プレーンワッシャー 6MM	3	00-00-0086	10

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp
お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857

■モンキー・ゴリラに使用する場合

ここに記載している取り付け要領は、シリンダーヘッドにオイルクーラーを装着するまでの内容となります。
オイル取り出し口とオイルクーラーをホースで接続する配管作業は、オイル取り出し口キット各種に記載されている取り付け要領をご覧下さい。

旧スーパーヘッドエキゾースト側のタペットアジャスティングホールカバーを取り外します。この際オイルが漏れるので、必ず下にオイル受けを用意して作業を行って下さい。
ソケットキャップスクリュー2ヶ所を外し、タペットアジャスティングホールカバーを取り外します。

下図のようにボタンヘッドスクリュー 6 × 25、プレーンワッシャー 6MM を使用し、オイルクーラーブラケットを装着します。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボタンヘッドスクリュー
トルク：10N・m（1.0kgf・m）

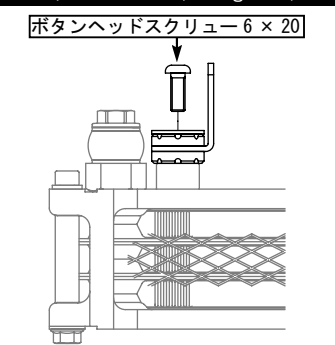
オイルクーラーステーにクッションラバーを取り付け、カラーを差し込みます。
写真Aの状態でカラーを上側から差し込みます。

ボタンヘッドスクリュー6 × 20を使用し、オイルクーラーステーを弊社製オイルクーラー本体（コンパクトクール）に取り付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボタンヘッドスクリュー
トルク：10N・m（1.0kgf・m）

オイルクーラーブラケットとオイルクーラーステーを固定します。
オイルクーラーステーがオイルクーラーブラケットの外側になる様にし、オイルクーラーブラケットの内側にオイルクーラーブラケットカラーを入れます。プレーンワッシャ6MMを通したソケットキャップスクリュー６×７５を差込み、フランジＵナットで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：12N・m（1.2kgf・m）

※締め付け後必ずフロントフォークがフルストローク時オイルクーラーに接触しないかどうかを確認して下さい。

弊社製スリムラインホース装着例

■ GROM/MSX125 に使用する場合

ここに記載している取り付け要領は、シリンダーヘッドにオイルクーラーを装着するまでの内容となります。
オイル取り出し口とオイルクーラーをホースで接続する配管作業は、オイル取り出し口キット各種に記載されている取り付け要領をご覧下さい。

シリンダーヘッドエキゾースト側のノーマルタペットアジャスティングホールカバーを取り外します。この際オイルが漏れるので、必ず下にオイル受けを用意して作業を行って下さい。
フランジボルト2ヶ所を外し、タペットアジャスティングホールカバーを取り外します。

下図のようにボタンヘッドスクリュー 6 × 25、プレーンワッシャー 6MM を使用し、オイルクーラーブラケットを装着します。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボタンヘッドスクリュー
トルク：10N・m（1.0kgf・m）

オイルクーラーステーにクッションラバーを取り付け、カラーを差し込みます。
写真Aの状態でカラーを上側から差し込みます。

ボタンヘッドスクリュー6 × 20を使用し、オイルクーラーステーを弊社製オイルクーラー本体（コンパクトクール）に取り付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボタンヘッドスクリュー
トルク：10N・m（1.0kgf・m）

オイルクーラーブラケットとオイルクーラーステーを固定します。
オイルクーラーステーがオイルクーラーブラケットの外側になる様にし、オイルクーラーブラケットの内側にオイルクーラーブラケットカラーを入れます。プレーンワッシャ6MMを通したソケットキャップスクリュー６×７５を差込み、フランジＵナットで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：12N・m（1.2kgf・m）

※締め付け後必ずフロントフォークがフルストローク時オイルクーラーに接触しないかどうかを確認して下さい。

弊社製スリムラインホース装着例